



1_ 3区金丸哲選手 2_ 一斉スタートとなった15区、鈴木真奈選手（猪苗代中1年） 3_ 6区半澤拓見選手 4_ 閉会式終了後、みんなで記念撮影 5_ 2区住吉秀昭選手（田村高2年） 6_ 7区吉田勇大選手（東中2年） 7_ 9区小川あかり選手（猪苗代中3年） 8_ アンカーを務めた松崎政継選手 9_ 11区金子瞳選手 10_ 12区影山裕選手 11_ 8区國分伊三郎選手（猪苗代中3年） 12_ 4区小川広選手（田村高3年）

から5区神汰輝選手（会津高1年）にリレー 13_ 13区五十嵐史朗選手から14区长谷川尚大選手（会津学鳳高2年）にリレー。五十嵐選手の懸命のサポートで間一髪タスキがつながる。長谷川選手が一斉スタート用のタスキを放り投げて走り出す 14_ 1区小林萌々選手（猪苗代中2年） 15_ 10区五十嵐修一選手（学法石川高3年） 16_ 11区金子瞳選手（緑小教諭）の応援に駆け付けた緑小の児童たち

7区 町の部区間賞 吉田勇大選手



とにかくがんばるしかないと思って走った。区間賞を取れるとは思っていなかったの、結果を聞いたときは驚いた。今年の冬は体力づくりに取り組んで、来年の中体連で県大会に行けるように頑張りたい。

2区 町の部区間賞 住吉秀昭選手



最初から区間賞を取るつもりで走った。タスキを渡すまでに町の部1位にすることが自分の役割だと思っていたので、それを果たせてよかった。総合では区間5位だったので、来年はもっと上を目指したい。



選手、コーチ、監督として
25回連続出場
五十嵐幸夫監督

25年間この大会に携わってこられてよかった。走るだけでなく、いろいろな経験をすることができて、自分にとってプラスになった。これからもこの大会を目指して選手が育ってほしい。

全力でつないだタスキ

第25回ふくしま駅伝

第25回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会（ふくしま駅伝）は11月17日、白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁までの16区間、95・1kmのコースで開かれました。

県内53チーム、839人が参加。猪苗代町チームは町の部で4位、総合で13位と今年も健闘しました。

レースでは、2区の住吉秀昭選手、7区の吉田勇大選手が町の部区間賞を獲得したほか、全ての選手が粘り強い走りを見せました。全力を出し切り、タスキをつないだ選手たちの頑張り、町民に元氣と勇気を与えました。

四半世紀の節目を迎え、開会式で第1回大会から連続で出場している選手などを表彰。選手、コーチや監督として25回連続で出場している本町チームの五十嵐幸夫監督が表彰を受けました。